

出願者数及び出願倍率について

宮城県教育委員会

記者発表資料

令和5年6月7日(水)

教育庁教職員課

担当 佐々木 (022-211-3635)

E-mail kyosykn@pref.miyagi.lg.jp

1 採用予定者数及び出願者数・出願倍率について

令和6年度(令和5年度実施)採用候補者選考

校種	小学校	中学校	中・高	高等学校	養護教諭	栄養教諭	計
採用予定 人数 (昨年度)	230名程度 (地域枠、特別支 援学校枠、英語枠 含む) (250名程度)	100名程度 (特別支援学校 枠含む) (150名程度)	中学校・高等 学校採用者 に含む (特別支援学校 枠含む)	80名程度 (特別支援学校 枠含む) (100名程度)	5名程度 (5名程度)	若干名 (若干名)	415名程度 (505名程度)
出願者数 (昨年度)	353名 (426名)	275名 (307名)	345名 (329名)	390名 (421名)	129名 (139名)	19名 (26名)	1,511名 (1,648名)
うち新卒者数 ※占める割合 (昨年度)	197名 ※56% (195名)	113名 ※41% (129名)	115名 ※33% (89名)	123名 ※32% (139名)	21名 ※16% (27名)	7名 ※37% (12名)	576名 ※38% (591名)
出願倍率 (昨年度)	1.5倍 (1.7倍)	2.8倍 (2.0倍)	—	4.9倍 (4.2倍)	25.8倍 (27.8倍)	—	3.6倍 (3.3倍)

※中・高の倍率については教科の配置数、栄養教諭については配置数が確定した段階で倍率が確定します。

2 出願状況の特徴について

(1) 全体の出願者数は減少も、出願倍率は0.3ポイント上昇

全体の出願者数の減少は、近年、講師の正規化等を進めていることから、講師を続けながら教員採用選考を受験する既卒者層が減少したことに伴うものと考えられる。出願者数は減少したものの、採用予定人数が前年度より減少したこともあり、全体の出願倍率は3.6倍と前年度から0.3ポイント上昇した。

(2) 新卒者の出願者数は昨年度と同等

新卒者の出願者数は昨年度と同等であり、その中でも、小学校、中・高の区分で増加した。特に、小学校は、出願者数に占める新卒者の割合が56%と、昨年度の46%から10ポイント上昇した。

各大学へ出向いての説明会や、個別相談、オンラインでの説明会での、教職の魅力発信、本県の働き方改革の取組紹介などを通して、大学等への働きかけを積極的に行ったことによって、22歳人口が減少を続けている中で、一定数の教職志望者を確保することができたと考えられる。

3 採用選考日程・会場

○第1次選考 令和5年7月22日(土曜日)

宮城会場 仙台第一高等学校、仙台二華中学校・高等学校、工業高等学校、第二工業高等学校

東京会場 東京大学駒場キャンパス

○第2次選考 令和5年9月5日(火曜日)から7日(木曜日)、及び11日(月曜日)から13日(水曜日)のうち1日

実技試験9月8日(金曜日)

会場 総合教育センター